

# 2025-2026 週報



R | 会長 フランチェスコ・アレツツォ  
R | テーマ 『よいことのために手を取りあおう』

UNITE  
FOR  
GOOD

地区ガバナー 坂口 孝  
地区スローガン 『ロータリアンは「行動人」でなければなりません。  
皆さん、先ずは行動して下さい！』

国際ロータリー  
第2570地区

## 狭山中央ロータリークラブ

会長 江原伸夫 会長エレクト 渡邊高治 副会長 沼崎正徳 幹事 小島美恵子

事務所 〒350-1305 狭山市入間川1-24-48  
TEL: 04-2952-2277 FAX: 04-2952-2366  
E-mail: schuohrc@p1.s-cat.ne.jp HP: https://www.schuohrc.org  
例会場 ニックス 〒350-1305 狭山市入間川4-25-3 TEL: 04-2954-9595



[第3グループ 例会日: 入間 所沢 飯能 新所沢 日高 所沢西 新狭山 所沢東 入間南 狭山中央金]

## 第1423回 (12月5日) 例会の記録



国際ロータリー第2570地区ガバナーの坂口孝様が11月28日 22時20分ご逝去されました 享年71歳でした  
あまりにも突然のことで痛惜の念に堪えません  
ここに生前のご功勞に感謝すると共に謹んで哀悼の意を表します  
例会開始前 故人のご冥福をお祈りし黙禱を捧げました

点 鐘 江原伸夫会長  
斉 唱 国歌斉唱・奉仕の理想  
第2副SAA 高田会員 若松会員  
出席報告 出席向上委員会 若松泰誼委員長

会員数	出席者数	出席率
19 名	17 名	89.47 %

本日のお客様 沼崎正徳副会長

### 卓話

米山記念奨学生 マック ジャ ハン様

### メイクアップ

入間ロータリークラブ

米山記念奨学委員会統括委員長 一柳達朗様  
米山カウンセラー 菅野茂実様  
会長 晝間和弘様  
幹事 後藤 健様  
会長エレクト 繁田 光様  
宮寺成人様  
滝沢文夫様  
忽滑谷明様  
吉沢成十様  
白幡英悟様  
田中快枝様



ようこそお越しくださいました！

### 会長の時間

江原 伸夫 会長



本日は米山記念奨学生のマック・ジャ・ハン様、そしてお世話をなさっている入間ロータリークラブより、一柳達朗米山記念奨学委員会統括委員長、菅野茂実カウンセラー、晝間和弘会長、後藤健幹事他、総勢11名の会員の皆様にお越しいただいております。ご都合を合わせていただきありがとうございます。私も本日の例会を楽しみにしておりましたが、いざこの場に立ちますと、通常の例会とは景色が違い、12月という

のに汗が出るほど緊張しています。失礼がございましたならばお許しください。

マック・ジャ・ハン様には後ほど卓話をお願いしております。

会長の時間ですが、いい機会ですので、私自身が米山奨学事業について読み直した歴史についてお話をさせていただきます。

日本のロータリーが力を入れている**3つの国際奨学事業**があります。

1つ目は（日本人に対してロータリー財団がその費用を負担する）**ロータリー財団による奨学金**、2つ目は（経費を地区またはクラブがその費用を負担する）**青少年の国際的な学生交換**、3つ目が**米山奨学金**で、財団法人ロータリー米山記念奨学会が行う**国際奨学事業**です。これは日本に留学する外国人を対象とする点で、前2者とは全く異なった日本のロータリー独自の奨学制度です。

自国の若者を外国へ送り出すロータリー財団の奨学事業と、外国から留学生を受け入れる米山奨学事業とは、日本のロータリーにとっては、相互補完の役割を持つ車の両輪というべき役割を持っています。

米山奨学金は、私費留学生の費用の一部を補助する趣旨のものですが、その使命は金銭的援助だけでなく、異国の地で学ぶ留学生が、ロータリーを通じて一方的に日本で学ぶだけでなく、文化交流の担い手として日本人が外国を理解し、外国人の民族性や生の対日感情を理解する機会を与えてくれる得難い使節でもあります。

米山奨学事業の歴史は、敗戦後の復興が続く1952年、日本のロータリーの礎を築いた米山梅吉氏の遺徳を記念するため、東洋諸国の学生を日本に留学させる東京クラブ奨学事業「米山基金」が企画され、翌年1953年に設立されました。戦争の過ちを繰り返さないために、『平和日本』をアジアに、そして世界に理解してもらいたい…。生前の米山梅吉氏もまた平和を愛し、青年たちに援助の手を差し伸べていたことから、アジア諸国から留学生を招致し、平和を求める日本人と出会うことによって、互いに信頼関係を築く国際奨学事業がふさわしいとされ、2年にわたる募金活動後、1954年にタイから第一号奨学生を招聘しました。

東京ロータリークラブ独自の活動であった「米山基金」は、その後全国ロータリークラブの共同事業へと発展的に継承され、1957年には全国規模の『ロータリー米山奨学委員会』が組織され、その後10年に及ぶロータリアンの献身的な尽力の結果、当時の文部省より財団法人の認可が下り、1967年（昭和42年）7月1日に財団法人**『米山記念奨学会』**が設立されました。

現在は世界中から多くの留学生を受け入れています。

今から73年前に企画され財団法人となってから58年後の今日、マック・ジャ・ハン様のお話を聞かせていただけることを嬉しく思っています。よろしくお願いいたします。

## 幹事報告

＜ 小島美恵子 幹事 ＞

### 報 告

- ・ 福島芦ノ牧温泉 親睦旅行の御礼と参加費のお知らせ  
先日の親睦旅行にご参加の皆様、大変お疲れさまでした。何事もなく無事開催できましたことを心より御礼申し上げます。

参加費：65,000円/1人

近日中に預り金よりお支払いただきますので、残高が不足している方は預り金口座にご入金いただきますようお願いいたします。

- ・ クリスマス&年忘れ家族同伴夜間例会のお知らせ及び出席調べ（回覧）

日 時：12月19日 18：00～

場 所：喜代川

会 費：8,000円

アトラクション：津軽三味線

- ・ 地域歳末たすけあい募金について  
例年通り1人500円をクラブ活動費より協力予定

- ・ 2025-26年度下期会費（1-6月分）納入のお願い  
下期会費の納入時期がまいりました。下記の通りご案内いたしますので、お振込みくださいますようお願い申し上げます。  
出費多端の折りとは存じますが、何卒よろしくお願いいたします。

金 額：150,000円

振込先：埼玉縣信用金庫 狭山支店

普通 4 3 2 6 9 9 5

狭山中央ロータリークラブ一般会計

### 回 覧

- ・ RIより「疾病予防と治療月間 リソースのご案内」
- ・ 地区事務所より「ロータリー・リーダーシップ研究会PartⅢのご案内」
- ・ ハイライトよねやま

## 委員会報告

- 親睦活動委員会 ＜ 清水幸彦委 員長 ＞

12月記念日のお祝い

会員誕生…………… 小田会員

結婚記念…………… 高田会員

## 米山卓話



### 米山記念奨学生

## マック ジャ ハン様

国 籍： ベトナム  
大 学： 駿河台大学 経済経営学部4年  
世話クラブ： 入間ロータリークラブ



皆さん、少し想像してみてください。  
皆さんは、涼しく、緑が多く、穏やかな空気に包まれ、コーヒーの香りが漂う場所で目を覚まします。そこでは友達を楽しそうに遊び、地元の人々と共に暮らしている様子を見ることができます。その場所に行ってみたいと思いませんか？  
そこがまさに私の故郷、ベトナムのダクラク省なのです。

### ダクラク省

位 置： ベトナムの中部高原地帯  
主に400mから800mの高原地域帯  
気 候： 熱帯モンスーン気候  
雨季は5月から10月まで  
乾季は11月から翌年の4月まで  
2つの季節がはっきり分かれている  
平均気温： 約24～25度  
涼しく過ごしやすい  
産 業： コーヒー、コショウ、ゴムなどの栽培  
ダクラク省は、ベトナム最大のコーヒー生産地

ダクラク省は雄大な自然に恵まれています。美しい滝や湖があり、国内外の観光客に人気の場所です。また、国内で最も多くの象が生息する地域としても知られ、人々と動物が共存する独特な風景が広がります。

## 少数民族寄宿制学校

この地を語る上で欠かせないのは、多様な少数民族が共に暮らし、豊かな伝統的な文化が今も息づいていることです。

私はその寄宿制学校で学びました。

この学校は、1990年代初頭に国家の少数民族寄宿制学校制度に基づき設立されました。そこでは、少数民族の学生たちが学びながら共同生活を送っています。

少数民族寄宿制学校は、いくつかの目的のもとに設立されました。

- ① 山間部などの生活が困難な地域に暮らす少数民族の生徒たちに学ぶ機会を提供する
  - ② 地で活躍できる人材を育成する
  - ③ 少数民族の子供たちの教育を高め、山間地域と都市部間の教育格差を解消する
  - ④ 学習や共同生活を通じて、民俗文化の伝統を保存し、受け継ぎ、発展させていくこと
- 少数民族寄宿制学校では、生徒たちに多方面からの支援が行われています。

- ① 学習面：  
授業料が免除
- ② 生活面：  
生徒は学校の寮に入ることができる  
また、食事支援も受けられる
- ③ 快適な環境：  
共同生活室・図書室・運動場などの設備が整っている
- ④ 経済的支援：  
補助金の支給、制服、教科書、学用品の支援、その他の免除あり

このように、多くのサポートにより、生徒は安心して勉強に集中することができます。

私はこの学校の生徒の一員として選ばれ、多くの活動に代表として参加し、一定の成果を収めることができたことを幸運に思います。

私は学校で行われた様々なイベントや活動で司会を担当しました。  
学業面では、国語オリンピックで金メダル、科学技術コンテストで優秀賞を受賞することが出来ました。  
また、学校を代表する模範的な生徒としてニュースに出演し、学校を紹介するインタビューも受けました。

## 日本留学

高校を卒業した後、日本への留学という夢を抱いていましたが、家庭の経済的な事情で個人の留学は難しかったのです。

もし皆さんが経済的な理由で自分の夢を諦めなければならなかったらどうしますか？

私はその夢を諦めず、2020年の朝日新聞奨学生として来日することができました。日本語学校で2年間学びながら新聞配達の仕事をしていました。この奨学制度のおかげで、経済的な心配なく日本で学ぶことができました。



そこでの仕事を通じて、私は多くの経験を積み大きく成長し、よりたくましくなることができました。日本語学校を卒業した後、私は大学に進学する決意をしました。

しかし、日本語学校を卒業する前に家庭に不足の出来事が起こり、私は自分の学費の一部を家族の生活費として仕送りをすることに…

そのため、一年間の学費を賄うだけの貯金が足りなくなっていました。いくつかの大学に合格していたものの、やむを得ず、専門学校への進学を選ばざるを得ませんでした。それでも、将来大学に転入するために、専門学校での学びを懸命に続けました。

そこでは、毎年優秀学生賞を受賞し、学校のウェブサイトで紹介されました。また、専門分野に関連する資格も複数習得することができました。

2024年には、朝日新聞の奨学生として、ベトナムから来日した全国各地の校長や各都道府県の奨学会代表の方々とともに、朝日新聞本社や日本語学校を訪問する機会をいただきました。

専門学校を卒業した後、私は駿河台大学の3年に編入しました。

大学では留学生を代表して、新入生向けのオリエンテーションに参加させていただきました。とても嬉しく光栄に思っています。

また、国際交流会では司会を務め、入学説明会ではアルバイトスタッフとして参加し、本校を希望する留学生の皆様説明や案内を行う機会もいただきました。

そして、大学では幸運にもロータリー米山記念奨学金を受けることができました。

この奨学金は私の人生を大きく変える転機となりました。

## 今、そして将来に向けて

私は、経済的な支援を受けるだけでなく、多くの人々と触れ合い、様々な行事に参加する機会をいただきました。例えば、ロータリーの森清掃奉仕活動や、埴輪づくり、弓道の体験など、日本の文化に触れる貴重な経験をすることができました。これらの経験は、私に自信と積極性を与え、さらに努力しようという大きな動機となっています。

9月には第5回鶴ヶ島ロータリークラブ米山奨学生スピーチコンテストで優勝することができました。大変嬉しく、また光栄に思っています。テーマは「日本と自分の国のいいところ」でしたが、私は教育を選び、教育構想は未来の鍵であるという信念をもとにスピーチを行いました。このテーマを選んだのは、先ほど紹介したとおり、

私は少数民族の村で生まれ育ったからです。そこでは、子どもたちは中学を卒業すると進学を諦めてしまうことが少なくありません。さらに、16歳前後の多くの女性は結婚して出産することを選び、学習の道を進む機会はほとんどない状況です。

私は幸運にも、寄宿制学校で学ぶことができました。そこでは学業だけではなく、どんな状況に生まれ育ったとしても、夢や努力さえあれば遠くまで進むことができるということを教えてもらいました。

この信念は私の心に深く刻まれています。そして、故郷の若い世代に学ぶ機会を提供し、彼らが自分の夢を実現できるようにするという思いを胸に、私は毎日努力と挑戦を続けています。

今日、私はロータリー米山記念奨学会の奨学生として皆さんの前に立っています。これはその小さな証の一つなのです。

私の姿を見て、村の多くの親達が、子どもを学校に通わせ、学びと夢を追いかけさせようと考えてくれていることを知りました。「将来大きくなったら、ハンさんのようになりたい！」と言ってくれる子どもたちもいました。その言葉を聞いた時、私は思わず涙が溢れました。故郷を離れて5年が経ち一度も帰れていませんが、その無邪気な言葉が私にとって大きな励みとなっています。

皆が教育を信じ、努力を惜しまず行動すれば、どんな環境の子どもたちも希望と学びの機会が届くことを願っています。教育は、未来を切り開く限り、子どもたちに夢を実現する力と可能性を与えるものだからです。

村の人々のたゆまない努力のおかげで、今では私の故郷の暮らしも大きく良くなりました。

子どもたちも学校に目を向け、教育にますます近づけるようになっていきます。中には高校卒業した後、私と同じように日本へ留学することを選んだ若者もいます。そのことを思うと、私は本当に幸せな気持ちになります。

## 目標

現在私は経済経営学部4年生です。

卒業した後は、税理士になるという目標のもと大学院に進学する予定です。

税理士として専門性を磨くことは、人材の育成と社会への貢献を目指す貴団体のビジョンとも重なるものだ確信しております。

私はここ、日本で得た知識とネットワークをベトナムの未来への投資として必ず成果を上げるとお約束します。



米山記念奨学委員会  
統括委員長 一柳達朗様よりお願い

米山記念奨学会は皆様の温かいご支援によって成り立っている事業です。  
普通寄付と特別寄付があり、特別寄付はロータリアンの方々の善意による寄付です。  
寄付の金額によって米山記念奨学生の受け入れ人数が決まりますので、是非ともご協力くださいますようお願い申し上げます。



# ニコニコボックス

＜ 小林奈保絵 SAA ＞

- 入間RCの皆様 本日は宜しく願いいたします。  
マックジャハンさん卓話ガンバって下さい。
- 江原会員 米山記念奨学生マックジャハン様、「世話クラブ」の入間ロータリークラブより、一柳達朗米山記念奨学委員会統括委員長、菅野茂実カウンセラー、晝間和弘会長、後藤健幹事他、総勢11名の会員の皆様にお越しいただきありがとうございます。マックジャハン様のお話しを楽しみにしておりました。よろしくお願いいたします。
- 小島会員 入間ロータリー会長晝間様はじめ皆様、ようこそおいでいただきました。卓話のマックジャハン様、お話し楽しみにしておりました。宜しくお願い致します。
- 寶積会員 本日は、入間RCの皆様、そして米山記念奨学生マックジャハンさん、ようこそおいで下さいました。明るい卓話、良質な例会を楽しみにしております。

- 稲見会員 米山卓話のマックジャハン様、今日のお話楽しみにしていました。入間RCの皆様よろしく願いします。
- 菊田会員 入間RCの皆様、米山記念奨学生マックジャハンさんようこそ狭山中央RCに訪問いただきありがとうございます。ベトナムのお話たのしみにしております。よろしくお願いいたします。
- 小林会員 きつぱりと冬がきた、という風情でしょうか。本日は米山記念奨学生のマックジャハンさんをはじめ、入間RCの方々をお迎えできまして嬉しゅうございます。どうぞよろしくお願い致します。
- 清水(幸)会員 米山奨学生マックジャハン様、入間RCの皆様、本日はお忙しいなかおこしいただきありがとうございます。
- 高田会員 妻の誕生日のお祝い、ありがとうございます。
- 渡邊会員 米山記念奨学生マックジャハン様、狭山中央RCにお越し頂き有難うございます。本日はどのようなお話が伺えるか楽しみにしておりました。入間RCの皆様、ようこそお越しくださいました。どうぞ宜しくお願い致します。又、誕生日祝を頂き有難うございます。

## 定例理事会（例会終了後）

＜ 出席数：理事15名中⑬名 ＞

- ◆ 1月、2月のプログラムについて承認
- ◆ 坂口孝ガバナー葬儀について  
通夜 12月9日(火)18:00～  
告別式 12月10日(水)10:30～  
式場 川越市民聖苑やすらぎのさと  
川越市小仙波867-1  
電話 04-226-0090  
クラブ代表として会長・幹事が9日の通夜に参列  
香典は10,000円とする
- ◆ フリーマーケット利益について  
「こども食堂」と「オリーブの里」に寄付  
金額は熟考
- ◆ 市内2RC新春合同例会について  
(ホストクラブ：新狭山RC)  
日時 1月28日(水)18:00～  
場所 ニックス  
その他詳細は未定



12月19日(金)  
クリスマス&年忘れ  
家族同伴夜間例会  
時間：18：00～20：00  
場所：喜代川  
アトラクション：津軽三味線

12月26日(金)  
例会取り止め

1月2日(金)  
例会取り止め

次回例会予定